

目 次

まえがき

第1部 論文集

- 第1章 消費者不安をともなう食品関連新技術導入による農産物需給への影響分析
—乳牛の乳量増加ホルモン剤（rbST）の事例— ……………1

木下 順子・鈴木 宣弘

- 第2章 食の安全と安心に関する消費者意識の計量分析
—トレーサビリティと遺伝子組換え食品に関するインターネット調査— ……………15

矢部 光保・嘉田 良平・大谷 智一

- 第3章 改正JAS法の虚偽表示抑止効果についての考察 ……………52

明石 光一郎・矢部 光保

- 第4章 「食品安全の経済分析」の研究動向と今後の課題 ……………57

嘉田 良平

- 第5章 戦後から現在までのわが国の食品の安全に関する事例とその変遷および特徴
……………65

佐藤 京子・西尾 健

- 第6章 国産牛肉「トレーサビリティ・システム」の安全性保証と品質保証 ……………131

市田 知子

- 第7章 明治期における食品安全制度の概要—食肉政策を中心として— ……………145

堀越 孝良

第2部 特別研究会報告および記録

- 第1章 食品安全の経済分析—研究動向と政策的含意—（2002年6月17日報告） ……………175

浅野 耕太

- 第2章 ゲーム理論によるBSEのリスク分析（2002年6月17日報告） ……………191

吉野 章

第3章 特別研究会記録（2002年11月7日）

1. 食品安全性の需要分析とデータ体験的感想—208
澤田 学
2. CVMによる牛肉トレーサビリティの経済評価（中間報告）214
佐藤 和夫
岩本 博幸
澤田 学
3. 離散選択・潜在変数統合モデルによる消費者行動分析
—牛肉選択を対象として—221
合崎 英男
4. 危機にあたってのコミュニケーション229
吉川 肇子
5. 討論235

第4章 日本における畜産物の安全・安心システム（2002年12月19日報告）242 矢坂 雅充